

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/11/28号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

FOMC議事録若干ハト派で1750ドルキープ

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



Thanksgiving Holidaysの週、日本では勤労感謝の祝日もあり、マーケットは比較的静かな動きでした。1750ドルを上回るレベルで一週間が終わったことはとりあえずよい兆候であったと思えます。木曜日に発表されたFOMC議事録で、ほとんどの金利上げのペースを早期にスローダウンすることが「適切になる」と「かなり多数」のメンバーが同意しているとの内容が、ゴールドへの買いを誘いました。ただ同時に金利がここから急速に下げるような状況ではなく、金利上げが来年早期に終わったとしてもその後長い間金利が高止まりする可能性が高く、そのためここからゴールドが一方向的に大きく上げるとの見方には投資家も慎重なようです。1620ドルからここまでの上昇は、ショートをしていた投資家のショートカバーが主な要因であるという見方が強く、ETFの残高が増えていない、つまり新規の買いはあまり入っていないと思われます。ただ、これまでも書いてきたように、1600ドル台では、中央銀行や中東、アジアの個人投資家の現物買いは記録的であり、おそらく下値が固くなっているのは確かです。あとはヘッジファンドや欧米の機関投資家、つまり、金利上昇によってショートしていた投資家が、あらたにロングに回るだけのゴールド買い材料が必要です。それにはまだ時期尚早。しばらくはこのあたりでの相場展開となりそうな気がします。今週は水曜日にWashington DC Brookings Instituteでパウエル議長のスピーチがありますが、それでまた議長がタカ派的発言をし、同じく今週末発表される雇用統計が予想されるよい数字（NFPが20万人以上）であれば、ヘッジファンドや欧米の機関投資家がふたたびゴールド売りに傾く可能性が高いと思います。もちろん、それらが逆の結果になれば大きく上昇の可能性もあります。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「シルバー：広がる現物不足（続き）」

（続き） 投資需要はシルバーの需要の40%に過ぎません。残りの60%の需要は工業用需要です。シルバーは金属の中でも最も高い熱および電気伝導性があり、それを利用しているソーラーパネルには現在一年あたり3000トン以上の需要があり、その量は毎年増えています。またその産業用需要のもう一つの例として自動車が上げられます。特にEVはガソリンやディーゼルなどの従来の内燃機関車よりも2倍近いシルバーが使われている。今後EVへの自動車の転換が進んでいくという前提のもとにMetals Focusの予想では今後5年間にシルバーの自動車部品需要は2700トンに増えると予想されており、2040年つまり18年後にはEVのシルバー需要は供給の半分を占めるようになるという見方もあります。この項を書いている時点でもはやシルバーは大きく上がりつつあります。10月のCPIが7.7%と予想を下回る数字となり、FRBの金利上げのスローダウンの予想からドルと長期金利が下落、ゴールドが大きく上昇したことからシルバーも急騰、一時22ドルを超えるレベルまで上昇しました。金銀比価も90を超えていたものが80まで急落、割安だったシルバーに見直し買いが入っていると言えます。現物投資の伸び、供給不足、そして産業需要の長期的な増加がほぼ確実視されているシルバーは長期的にも価格上昇の可能性が非常に高いと考えます。

（金銀比価）



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

